

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立五箇小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合って、家庭生活の見直しに役立ててくださいようお願いします。

1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できっていない	
小	全	国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	五箇小	20.0	70.0	10.0	0.0	(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が肯定的な回答をしました。学校では、一度自分で考えてから友だちと交流するなど、分からぬことを一度自分で調べて考えること大切にして指導してきました。今後は、友だちがどのように調べているか、学び方を共有していくことで、学び方の引き出しを増やし、必要に応じて自分で学び方を選択していくことができるようになります。
- 身近な地域のことから児童の問い合わせや疑問を引き出し、調べ学習への意欲を高めながら、学び方を工夫し考えられるよう指導していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない	
小	全	国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	五箇小	20.0	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0	(単位 %)

【考 察】

- 本校が目標としている「学年×10+10分」をすべての児童が達成できるよう、自主学習の進め方や、家庭学習への取り組み方について指導しています。7割の児童が目標を達成することができています。今後も、友だちの自主学習を紹介したり、お互いに見合ったりするところで、学習内容のバリエーションを増やし、児童の学習に対する興味関心を高め、主体的に家庭での学習に取り組むよう工夫します。
- 今後も「家庭学習の手引き」を基本に、児童の実態に応じた宿題や課題等を工夫していきます。また、家庭との連携による「メディアコントロール」の推進により、学習時間の確保と充実に努めていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	五箇小	30.0	50.0	10.0	10.0

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた回答の割合がほぼ全国平均となっています。今後も、分かった点については、学習したことを自分の言葉で説明し、確実な定着を図ったり、分からなかった点については児童同士でどうしたら解決できるのかを考える機会を設けたりすることで、次の学習につなげていきます。
- 日々の授業の中で、以前に学習した単元とのつながりを見つけさせることを意識しています。今後は、これまでの学習とのつながりを教師が見つけさせるのではなく、児童が気づき、見つけられるような問いかけを工夫していきます。

4 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方には気付いたりすることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	40.9	44.0	11.5	2.7
6	五箇小	60.0	30.0	10.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が肯定的な回答をしました。学校全体で「つながる学び」ができるように「自分の考えを伝える」ことに力を入れて指導しており、そのことが話し合う活動に取り組む児童の積極的な態度につながっています。今後も、話し合い活動前後の考え方の変容を意識しながら学習できるように指導していきます。
- 生活場面においても友だち同士で話し合いながら活動する姿が見られます。児童同士がお互いの意見を認め合いながら生活できることが、学習面での話し合い活動の活発化にもつながっていると感じます。児童同士の良いつながりが継続できるように今後も指導していきます。